

全国曹洞宗青年会

souSei

そうせい

2010年1月

No.148

特集

曹洞禅を物語に
～その創作への挑戦を探る～



- 2 年頭にあたって
- 3 特集◎曹洞禅を物語に
その創作への挑戦を探る
Interview 今、伝えたい 継承の物語
Impression 平和と誓願の行脚
Afterword 私たちの「リアル」を物語にできるか
- 7 全曹青、発信せよ。
委員会、只今活動中
管区理事インタビュー
「全曹青と管区の架け橋として」(2)
- 12 加盟団体ニューススポット
東北・東海・中国管区大会レポート
- 14 賛助費浄納御芳名簿
- 16 あまみずダイアログ 9
“医信同源”の診療所(後編)
- 18 曹洞宗の袈裟に学ぶ 12
戦国期から江戸中期の掛絡
- 20 寺めぐり 街めぐり 3
瑞雲萬歳山
大寧護國禪寺を訪ねて
- 23 メメント 生死を想う 3
- 24 次期会長選考公募について

年頭にあたって



全国曹洞宗青年会 会長
久間泰弘

改歳之令辰 謹伸嘉惊儀

新年明けましておめでとうございます。
謹んで平成22(2010)年の新年を迎え、皆々様のご多幸とご健勝を心よりご祈念申し上げます。

第18期が、「いのちの声に耳を澄ます」というスローガンを掲げスタートして半年余りが経過しました。この間、前期よりの組織改編を受けてその歩みを刻んできた訳ですが、新しい体制の中で改善すべき点もあり、出向者一同、現在もより良い会務運営を目指し懸命に努力しているところでございます。

さて、日々の世相を顧みるに、多くの尊い命が損なわれ、政治経済不安による社会情勢も激動変化の中にあり、自然災害は日本国内に限らず地球規模で頻発しております。

確かに私たちは覚束無い立場で毎日を生きている存在です。しかし、そうであるからこそ、時を惜しみ、自らの菩提心の発露によって、混迷する現代での布教化に邁進する強い意志を持ち続けることが肝要であると思うのです。

私たちが、自ら求め、世間から求められる宗教的自己の確立は、天童如浄禅師の「梅は早春を開く」の語にあるように、自身の主体的意志と行動によって自らが開かれ、そして、その日常世界を開くことによって達成されていくのであろうと考えています。

私たち第18期全員、万物咸新の時節に今一度あらためて初心を思い返し、全国の皆様とともに、自己省察と慈悲行の実践に取り組んで参りたいと存じます。

本年も、皆様方には、昨年と変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます、年頭のご挨拶とさせていただきます。



sousei ばれっと
熊本県曹洞宗青年会



昨年初頭に公開され、全国で50万人以上が劇場に足を運んだ映画『禅 ZEN』。道元禅師のご生涯をベースにした物語が、全国に清冽な感動を届けました。今号では監督・脚本を努められた高橋伴明氏に、この映画について伺いました。三菱銀行人質事件を描いた『TATOO [刺青] あり』(1982) や連合赤軍事件を描いた『光の雨』(2001) など、社会性の高い作品で人間への鋭い洞察を続ける監督が、今の時代に道元禅師の物語で何を伝えたかったのでしょうか？

(写真提供:飯田裕子 聞き手:板倉)

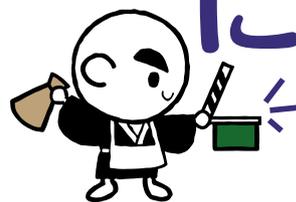
◎この映画に関わられる以前から、監督には尊敬する宗教家が3人いらつしやって、その一人が道元禅師だったそうですね。

高橋 父親が高校2年で急に亡くなったのがきっかけで「人間は死んだらどうなるんだ」ということが聞きたくなり、(出身地の)奈良の菩提寺が主催する仏教青年会に入ったんですけれど、若僧が質問ばかりするものだから随分煙たがられていたと思いますよ。その後も高野山やキリスト教の教会に行ったり、曹洞宗のお寺にも行きました。そして色々文献を調べた中で、道元さんの清廉で一徹なところ、日蓮さんや親鸞さんみたいな波乱万丈が表向きは全然見えてこないけれど、ひたすら

今こそ伝えたい、 継承の物語

高橋伴明氏「映画『禅 ZEN』監督・脚本」に聞く

曹洞禅を物語に



かつて、作家の里見弴氏は道元禅師の小説を書こうとしながら、結果的に随筆に改編せざるを得なかった、と言います。それから半世紀余り隔て、昨年は曹洞禅へのナラティブ・アプローチを試みた作品が多数発表されました。視覚言語での安易な伝達を忌避する宗風にも関わらず、試みられたそれらの作品の創作への挑戦を探ります。



高橋伴明 1949年、奈良県生まれ。映画監督。「TATOO [刺青] あり」(1982)で「一般劇場用映画に進出後、脚本・演出・プロデュースと幅広く活躍。

道元禅師は刺激的である

◎映画には原作(『永平の風道元の生涯』大谷哲夫・著)がありますが、大胆な換骨奪胎が試みられています。最初に原作を拝見されて、やはり変えていかなければいけないと思われましたか？

高橋 “映画屋”は原作通りにやろう

つすぐ。そこがすごく印象に残っていたんですね。

もともと、これまでの映画では真逆のことばかり描いていました(笑)。でも誤解を恐れずに言えば、宗教家の視点か犯罪者の視点か、どちらの側から描くかだけの違いで、自分の中では今までと別の映画を作ったわけではありません。

例えば、徹底的にワルを描いたとして、何でそいつがワルをするに至ったのかということ表現したいわけで、それが今回は、僕が知り得た範囲での道元さんに、僕にとつての宗教家の理想を重ねた部分がありますね。道元さんに「こうして欲しい」とか「こう言うて欲しい」とか。

◎映画には原作(『永平の風道元の生涯』大谷哲夫・著)がありますが、大胆な換骨奪胎が試みられています。最初に原作を拝見されて、やはり変えていかなければいけないと思われましたか？

とは考えないですよ。

僕としてはまず、道元さんが亡くなってからその遺志・心を誰かが継承する、というところを描きたかったんです。そうすると逆に始めは、ご自身が如浄禅師から法を受け継いだ、やはり中国から始めなければならぬ。終わりと始めを決まることで、あとはこの間をどう埋めていくか。

◎では、その「継承」について伺います。映画の中で継承されるのは…

高橋 (きつぱりと) 寂円さん。

◎監督の中では継承の象徴は寂円禅師なんです。懐奘禅師は如何ですか？永平寺の二世は懐奘禅師ですが。

高橋 懐奘さんも継承者の一人には違いないが、僕には少し学者っぽく映ったんです。寂円さんには、達磨大師に通じるものを感じました。学問的・観念的に教えを求めようとするのではなく、ただひたすらに坐り続ける実践者として寂円さんを描きたかったんです。

◎この映画に限らず、監督にとって主人公に成り得るのはどんな人物ですか？

高橋 やっぱり刺激的なアクションをしてくれる人物ですよ。実際の動きであつたり心の動きであつたりね。そういう意味では、道元禅師は極めて刺激的なアクションがある人物ですよ。あれだけ浮いた噂がないのは、逆に刺激的だったんですよ、僕にとつては

(笑)。自分たちにはできないことを成したというだけで刺激的ですよ。

わかりやすいドラマ性っていうのは、周りの人間がやればよい。それに對して道元禅師がどう対処するのか、というところで十分ドラマとして成立すると思います。

◎その意味では、おりんと執権・北条時頼は、元来道元禅師の周辺に足りない「色」と「権力」の象徴だと思います。この二つがあると一気にドラマチックになりますね。

高橋 おりんに関しては、公家出身の道元さんに対して最下層の出生という対比もあります。過去を背負った人間も変わることができるとを伝えたかった。おりんも道元さんの継承者の一人です。

時頼と道元さんに、原作にはない激しいやり取りをさせることで、権力相手でも一切動じない、道元さんの姿がきちつと見えてくると思えました。

逆におりんには、時に泣いたり気色ばんだり、極めて人間臭く接しています。そこはやっぱり権力者とは異なり、毅然よりも優しさを含めた人間らしさがあつていいだろう、と思えました。

坐禅が自利だけでは意味がない

◎「この世こそ浄土でなければいけない」というメッセージが冒頭で語られますが、これは監督の思いとしてあるのですか？



高橋 ものすごくありますね。死んでからよりも、この世がある種の悦びの世界でないといけない。そうでないと宗教の役割は果たせないと思うんです。

◎曹洞宗へは「坐っているだけで人が救えるのか」という疑問や、現世で「救わない」典型のように見る向きもありますが、観ていて痛快だったのは、映画の中で道元禅師はドンドン「救って」いますよね、目に見える形で。

高橋 私は「坐禅は他人を救わない」というイメージは違ふと思っています。だから「坐禅をして奥に引き籠る」のではなく、もつと大衆との触れ合いを見せたかったんです。私なりの解釈ですが、坐禅っていうのは、自分を無心にするので、やつと他人を救える優

しさ、他を思う心を養うために坐るんだらうなっと思っんです。自分だけ悟ったってしょうがないだろう、って思っているから。

◎ちなみに坐禅のご経験は？

高橋 ありますよ。曹洞宗のお寺でも経験していますし、実は今でも坐禅や瞑想に近い精神修養を25年くらい続けています。だからあの世界観は非常に分かります。曹洞宗の坐禅は初めから「只管打坐」つて一番難しいことを言うじゃないですか(笑)。坐っていると、自分の中の妄想やダメさ加減がすごく良く分かります。だから「あつ、これを滅しよう」と気付けることつてあるのではないでしようか。

映画ゆえの演出

◎曹洞宗侶に鑑賞後の感想は聞かれましたか？

高橋 何人が伺いました。中には「坐禅中にこんなこと(法界定印ではなく、内在する仏性を包むような印相)はない」と仰る方もいましたが、それは分かつてますよ、こつちも(笑)。あれは坐禅しながらも何ものかに手を差し伸べる、というイメージの演出で、監督として卑怯なのは、あれを子どもにさせたこと(笑)。

それから、道元さんが悟りを開くシーン。自分の中では「蓮台」つていうくらいなので、泥の中から上がつていて、どこか高い所に行けるだろうつていう、勝手にちよつと恥ずかしいイメ



ージですね。分かりやす過ぎる(笑)。未だに悟りのシーンは何ともいえないですね、自分の中で。

◎ 不可視なものを映像にするのは大変難しいと思いますが、私もあの悟りのシーンをご覧になった参禅者の方から「悟りを開くとあなるのですか?!!」と聞かれましたが(笑)、そういう意味ではオカルト的なミスリードになる可能性もありますね。

最後の示寂のシーンはどうですか? 史実の京都ではなく、永平寺の僧堂で亡くなられていますね。

高橋 僕は、坐禅をしたまま亡くなつて欲しかったのです。実は、制作中もあそこが一番物議を醸しましたね。原

作者の大谷(哲夫)さんからも疑義を頂いて話し合いの場を持ちましたが、「あの最後のシーンを撮れなければ監督を降りる」と突っぱねました。大谷さんも宗学の大家ですから、解釈として譲れない部分は結構ありましたよ。細かいところはもう忘れちゃったけれど(笑)。

◎ 曹洞宗としてこの映画の扱いが難しいのはまさにその部分で、創作物として観れば全く問題ありませんが、例えばこれを布教の一助として使うようなことがあると、登場人物も含めてかなりの脚色があり、教義や史実との差異から「取り扱い注意」になりますね。

高橋 そうでしょうね。でも、それは正直「知ったこっちゃない」って思っています(笑)。そういう目的(教義や史実への忠実さや無謬性)がウエイトとしてあるのなら(仕事として)引き受けていません。ただ、道元禅師のステータスを貶めようとは思っていませんよ。仏教も多少勉強しているし、そもそも道元禅師への関心や敬意があつたわけですから。

若い世代にこそ、道元さんを伝えたい

◎では鑑賞者のターゲット層は、具体的に想定されたんですか?

高橋 予想としては曹洞宗関係者や檀家さん、そこそこの年配の人だと思つ

たんですけれど、僕としては若い人たちに見て欲しかったですね。

僕が今一番腹立つてるのは、若い世代に「お前ら『自己中』『自己中心的なこと』を履き違えるなよ」ということ。個人主義は否定しないけれども、彼らは個人主義とは言いません。この前撮った映画なんかは登場人物が全員「自己中」人間。でも映画へ込めた思いはどれも一緒です。

この思いは原作者の大谷さんも同じだと思っけれど、今の日本には宗教特に仏教がないとダメ。日本人はいろんな大切なことを忘れてしまいました。具体的に言うと、助け合いや相手を思いやる心です。「僕はこう思っていたのに、今の若いやつはなんでこう思えないの?」っていうことがいっぱいあります。今の時代にこそ利行、四摂法は大事ですよ。

世界平和は理想だが絵空事だ、とか言われるじゃないですか。それでもいい。そこに向かおうとする思いと行いが大事だと思いますよ。

かつての日本人は当たり前前のごことを知っていました。僕たちの世代は、まだ「弱者をいじめちゃいけない」みたいなことが普段の生活の中で当たり前にあつたんですよ。我々は貧しい時の日本も豊かになった日本も両方知っています。今は不況だけど、それでも豊かな日本の成り立ちに貢献したっていう自負があります。だけど、その豊かさ代わりに犠牲にしたものもあるんですよ。「なんで日本はこんなになつちやっ

んだ? もしかして、こんなにしたのは俺たちの世代か?」って慙愧の念がものすごくあるんです。

「当たり前」のことが分からなくなつてきている現代で、その「当たり前」を知らしめるのに、道元さんが必要なんです。()内は編集部注

映画『禅 ZEN』

2009年1月公開
監督・脚本◎高橋伴明
原作◎大谷哲夫
『永平の風 道元の生涯』(文芸社刊)
製作◎道元禅師の映画を一緒につくる会
配給◎角川映画

現在、曹洞宗寺院向けに特別価格でDVDが発売中。お申し込み、お問い合わせは下記まで。
〒160-0022 東京都新宿区新宿1-23-6
グローイン新宿御苑202
「道元禅師の映画を一緒につくる会」
電話 03-5368-8189
FAX 03-5368-8069
担当者 栗原研一



平和と誓願の行脚～映画『GATE』の鑑賞に寄せて～

全曹青総合企画委員会副委員長 細川伸道

ア

アメリカ、ニューメキシコ州にあるトリニティサイト。一般には60年余りも閉ざされ続けてきた門(GATE)が開かれた。行脚を続けてきた僧侶達が、世界最初の核実験の爆心地へと進む。マット・テイラー監督による『GATE』という映画のクライマックスシーンである。

『GATE』には、広島に原爆が投下されて以来灯され続けてきた残り火を、アメリカ本土の核実験場の地へと戻さんとする僧侶達の行脚の姿がドキュメントとして綴られている。その行脚は、決して反戦運動ではなく、政治的なものでも宗教的なものでもない。ただ平和を願い、60年前に開かれた核兵器による破滅の輪を閉じせるためのものがあった。

2005年7月、サンフランシスコからトリニティサイトへ向けての、25日間2500kmにも及ぶ行脚。その手には、原爆の残り火が灯された赤いランタン。最初は奇異な目で見ていた現地の人々も、行脚の目的とそこに込められた願いを知るにつれて、僧侶達の旅に協力し、行く先々で心通わせていく。現地の新聞やテレビにも取り上げられ、支援の輪はますます広がっていった。

「炎天下、山を越え砂漠を越え、2500kmを歩き続けたからといってトリニティサイトの門が開かれるという保証はな



映画『GATE』

2008年7月公開

監督◎マット・テイラー

出演◎マーティン・シーン

日本語ナレーション◎松嶋菜々子

永平寺監院・大田大穰老師も出演されるこの映画は、全国のお寺での上映を広く募集している(本編使用料5万円。機材の貸し出しあり)。詳細は<http://www.gate-movie.jp/>へ

(c)2008 Global Nuclear Disarmament Fund

い。門が開かれなければすべてが徒勞に帰す。僧侶の言葉にあるように、冒頭に紹介したシーンは予め用意されていたものではない。破滅の輪を閉じさせることが出来るか否か分からない中で、自らの誓願のもとでの無言の行い、ランタンを手に黙々と歩む姿が人々の心を打ったのであろう。

監督談によれば、トリニティサイトの門の開閉は、大統領命により当日の担当門番に委ねられていたという(国としての決断は国際関係上不可能であつたらしい)。これまで多くの平和団体と対峙してきた門番は、これまで同様逮捕の段取りを進めていた。しかしながら、事の経緯を報道で知ったうえで、手も上げず、声も上げず進んでくる僧侶達の姿を見て、閉ざされ続けてきた門が開かれることとなる。監督曰く、単なる反対運動であつたなら門は開か

なかつたであらう。僧侶達のみならず、スタツプまでもが驚いた奇跡の瞬間であつた。奇跡が『GATE』を完成させたのか、『GATE』が奇跡を起こしたのかは誰にもわからない。映画パンフレットの一節である。ランタンに灯された原爆の火は、人類最初の核実験爆心地の前で、寄せられた千羽鶴とともに灰燼となり、60年間閉じられなかつた核による破滅の輪、憎しみの輪が閉じられることとなった。

小さな一歩も踏み出さなければ始まらない。ゴールが見えないにもかかわらず行脚を成し遂げた僧侶たちからは、改めて誓願と日々の行の大切さを思い知らされた。平和を希求する思いは多くの方に共感していただけるであらう。『GATE』を通じて閉じられた破滅の輪が、二度と開かれないように切に願う次第である。

寺院仏具

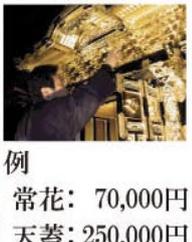
安心・安全・環境にやさしい特殊洗浄で文化庁にも安全性を認められた工法です
特殊洗浄・修復・修理・古代の風情を大切に残します!



作業前



作業後



例

常花: 70,000円
天蓋: 250,000円
仏像: 150,000円

- ・出張にて画期的な施工!
大切な仏具をその場で洗浄・修復いたします
- ・将来保存を第一に考慮した技術を是非!

全国見積無料!

齋藤商会ハロークリーン
TEL 0120-918-388 PH 080-1160-7007
E-Mail: h.c.2009@jewel.ocn.ne.jp

私たちの「リアル」を物語にできるか～特集のあとがきと『太陽を曳く馬』書評に代えて～

全曹青広報委員長 板倉省吾

全

曹青で広報委員会に携わって5年になるが、実は、その間にいくつかの「誘い」を受けた。それは「アニメやネット配信コンテンツを制作しないか」というものだ。

青年僧としての教化手段の志向とこれらの現代的と言えるメディアとの相乗を期待して、実際にシナリオ制作まで行った例もあったが、財政面等実現へのハードルは非常に高く、成果として結実しなかった。その間に私が最も苦慮したのは「私たちがメディアを利用して何を発信するのか」、その「発信の質」だった。

手段だけを変えて、その内実は従来からの教説を記号的になぞったりコピーしたのでは意味がない。現代において「リアル」な問題意識とその糸口を示す、というテーマ選定の難度も然ることながら、それらの要素をナラティブに繋ぎ合わせ、しかも直接的なターゲットと思われる「宗教的浮動層(寺檀関係でなくメディアを介する、若者を中心とした教化対象)」の関心を惹かなければならない。そんな物語を創作する源泉が、果たして我々にあるのかと、茫洋とさせられた。考えるだけで宙を掴む思いに駆られた。

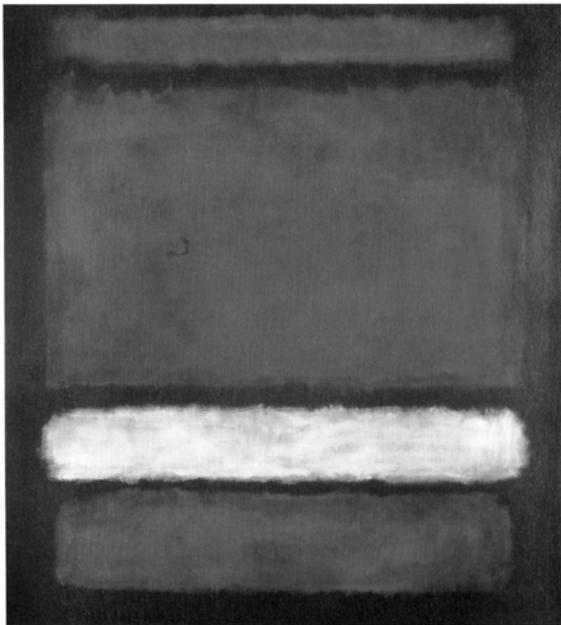
その意味では昨年、曹洞宗が題材となった物語が一般のメディアに乗って発信される好例にいくつか出会えた。それが今回特集で取り上げた映画『ZEN』と『GATE』であり、また高村薫氏の小説『太陽を曳く馬』の単行本化だった。

『太陽を曳く馬』の子細な内容に触れる紙幅はないので、興味があればご一読頂くほかないが、花形のミステリー

作家だった氏が「小説の中で人を殺せなくなったインタビュー談」のは、ご自身も被災した1995年1月の阪神淡路大震災の体験からだそう、その後10年間、曹洞宗侶・福澤彰之とその血族の大正・昭和・平成にわたる100年の物語を書いてきた。今作では彰之の妻子が犯した殺人事件と、都心の肉山寺院が運営し彰之が代表を務めたサンガでの雲水の轢死が物語の軸になっている。卓抜した筆致や取材力に言うに及ばずだが、驚愕したのは、雲水の死の背景に、サンガ内に『正法眼蔵』7巻本と12巻本それぞれに依拠した「法論」があったこと！確かに近年の宗門にもたらされた「根本分裂」の誘因子ともいえる命題の一つだが、まさかそこから物語が紡げるとは…。一見超俗的にみえるサンガであるが、その全体性

の解れ目には個の主張や吐露、人間的な営為と交感が渦巻く。それを彼の法論から導き出す手腕には脱帽した。小説の成否が「サンガの描写がリアルか」を基準におくならば、実態よりもよりラディカルな加飾が、サンガの「求道集団」としての本懐に肉迫している。

ただ、これもプロットの一つではない。最も重要なのは、僧俗を問わずに登場人物の底流に共通体験としての「オウム真理教」や「9・11」を脈々と滲えていることである。これは青年会の年齢層にとっても「極めてリアルな宗教体験」ではなからうか。人は何故信じるのか、何故殺めるのか。聖俗とは何か。あらゆる「問い」がむき出しになり、世界中の聖性が相対的地平へ舞い落ちた、あの時…。それは正に、仏教にとつては焼き入れのような鍛錬・補強の時期



太陽を曳く馬

高村薫

(c)2009 高村薫 新潮社

『太陽を曳く馬』
高村薫 著
発行元◎新潮社
2009年7月発売
価格◎上下巻ともに
1,890円
『晴子情歌』『新リア王』
(第4回親鸞賞受賞)に
続く3部作の完結編。

だったと言えないだろうか。懸命にオウムとの教義の「仕分け」をする過程では、寧ろ仏教自体の持つ神秘性や反社会的な側面にも目を向けざるを得なかった。しかし「9・11」に至って、他の宗教にない「善悪」を峻別しない特徴が、自らへの信仰への新たな裏づけを与えた。今、仏教に隣接するあらゆる物語・題材は、あの時期を基点にしなければ「リアル」を露さない。そのことを再確認させられた。

物語には時系列による展開があるが、我々宗侶の「時系列」は、発心・修行・菩提・涅槃となる。今回取り上げた作品には、それぞれに創作への確かな「発心」があり、そして展開としての「修行」は定や三昧の深化よりも実存的な群像劇であり、人間的な言葉や行動の応酬がある。その先の菩提と涅槃が描かれないのが、出家者でない作家たちには応分とも言えるが、かつては輪廻や因果が担っていた仏教の「物語」としての強度や関心が、極めて現世的な領域へ移ろっている点は見逃せない。

舞台装置としての「現世・今生」において僧侶・宗教者が、宗教の全体性に頼ることなく、個として(孤ではない)どのように志向し、汚泥不染の行実を為せるのか。発心と修行にどれだけの「リアル」を託せるのか。現代に求められる我々の物語はこの点に集約されるように思う。

全曹青、発信せよ。

委員会、只今活動中

基幹事業委員会

- * 11月1日より、委員研修を兼ねた電話相談窓口「観世ふおん」を開設しました。毎週日曜日、22時から24時まで相談を受け付けています。11月中の相談受理件数は3本でした。
- * 全国で初めての開催となる四国管区の基礎研修が、12月2～3日に愛媛県西条市内興雲寺様を会場として開催されました。外部講師として、地域において生活困窮問題などの相談を受けておられる佐賀県普恩寺住職金子謙三老師をお招きしました。講義や傾聴ロールプレイ(擬似体験)等のプログラムで1泊2日の日程で行いました。詳細は次号にてお伝えします。
- * 今年度内の各管区基礎研修会は以下の予定で開催されます。
○2/22～23: 北信越管区 ○2月中: 中国管区 ○3/1～2: 関東管区・全曹青併催(於 曹洞宗檀信徒会館) ○3/30～31: 北海道管区
詳細は、全曹青HP『般若』にて随時更新しますので、ご覧ください。

広報委員会

- * 基幹事業に関する情報をHP『般若』に特設ページにて配信中です。また今月から『sousei on web』にて出向者によるリレーブログを連載します。お楽しみに。

法式委員会

- * 『出班焼香法』DVD頒布事業については、10月13・14日に大乘寺開山忌に参列し、本伝供の撮影を行いました。引き続き11月16日に日泰寺専門僧堂に拝登し、映像の撮影を行う予定です。
- * 『二師侍者公務帖』加筆再版事業については、初版関係諸師の方々に資料提供の依頼を伺いました。年内に資料収集を行う予定です。

執行部

- * 10月22、23日に第5回の執行部会と理事会・特別委員会を開催し、電話相談員養成研修会の各管区開催など、また特別委員会では災害対策について『素案』の見直し等を慎重審議致しました。11月25、26日には第6回の執行部会と理事会・特別委員会を開催し、臨時評議員会へ上程の活動報告、中間監査等の確認を行いました(臨時評議員会の詳細は『般若』に掲載しております)。また9月8日には大本山永平寺、10月22日には大本山總持寺へ拝登しました。



総合企画委員会

- * 総合企画委員会では、平成22年度花まつりキャンペーンに向けて準備してきました。アンケート調査で要望の多かった値下げを敢行し、単価を100円に致します。また、申し込みも10部単位とお求めやすくなりましたので、春の諸行事にご活用いただけましたら幸いです。皆さまのお申し込みを心よりお待ちしております。

全日本仏教青年会

- * 去る9月、第1回臨時理事会を開催(於 大本山永平寺)。また、岡山県美作市にて水害復興支援活動、タイ仏青本部落成式への参加。10月、韓国精進料理フェスティバルへの参加(全日仏青代表:志保見道一師)等、地域国境を越えた活動を展開致しました。更に、各加盟団体様と共作の超宗派カレンダーの制作も目下進行中です。

第6回
全国青年僧侶弁論大会

弁士募集

予 選

日時| 平成22年1月28日(木)13時 会場| 永平寺東京別院
内容| あなたの「青年僧侶として生きる信念」を10分以内でお話し下さい

本 選

日時| 平成22年3月11日(木)12時半～16時半 ※入場無料
場所| ノバホール TEL.029-852-5881
茨城県つくば市吾妻1-10-1 つくばエクスプレス・つくば駅徒歩3分

□協賛: 大本山永平寺 大本山總持寺 □主催: 弁論大会実行委員会 □申込・問合せ先: 大会事務局 水戸市成沢町1692東漸院内 TEL.029-229-7321 鈴木

北海道管区理事
橋本 真英



全曹青と北海道青年会を繋ぐパイプ役として、「いのちの声に耳を澄ます」スローガンのもと、いま青年僧侶として何をなすべきなのかを考え、また地方会員の声を中央へ伝えていけるよう2年間精進してまいります。今年6月には北海道釧路市で北海道管区大会が行われる予定です。よろしくお願ひ致します。

北信越管区理事
久我 泰文



まだまだ手探りの状態で分からない事ばかりですが、一歩ずつ確実に2年間を努めさせて頂こうという思いでおります。全曹青と北信越管区との繋がりがより深くなるようなお

手伝いをさせて頂く事が大切であると思っております。各委員会の事業において、人との接点を大切にしてこうという方向性が一致していると感じました。基幹事業である電話相談事業は、人に寄り添いながら生きるという本来の僧侶の姿の一つの実践の形であると感じます。これからのお寺や僧侶が進むべき方向性の一つなのではないかと感じています。より多くの方が知識を学び・研修を体験し・実践していきける環境を整えていく必要があるのではないかと思います。

東海管区理事
嶋田 英淳



東海管区理事に就任し、任期の4分の3が過ぎようとしています。

私自身この組織の力になっっているのか疑問ではありますが、残りの任期を全うしたいと思えます。

第18期の基幹事業について、僧侶として真剣に関わり、いかに持続していくか、また中途半端で終わらせない覚悟が必要だと考えます。

東海管区大会は、昨年11月15日(日)浜松グランドホテルにてタレント島田洋七氏の『あの頃に還ろう』と題して講演会を行いました(次頁参照)。

管区理事インタビュー
「全曹青と管区の架け橋として」(2)

前号に続き管区理事にインタビューを行いました。内容は、「管区理事に就任されたことについて」、「全曹青の事業について」、「管区大会について」の3点です。今号は橋本真英理事、久我泰文理事、嶋田英淳理事、武義道理事、伊藤和人理事の5名です。



中国管区理事
武義道



今期、中国管区理事を拝命致しました。1期2年という限られた期間ですが、各委員方と協力し共に尽力できればと思います。今期の基幹事業の「いのちの声に耳を澄ます」という電話相談事業は、全曹

青及び各青年会員と一般の方の距離を近づけ、心を繋げることで出来る可能性を持った素晴らしい事業ですが、各会員方に引き受けて貰うことの難しさもまた痛感しております。この事業が、己の資質をも高めるものであることに理解を求めていきたいと思えます。

最後になりましたが、中国管区大会が、昨年の11月に岡山を会場に開催されました。講師2名の講演を元に、皆で審議し、活発に意見の交換ができたのではないかと思っております(次頁参照)。

四国管区理事
伊藤 和人



今期のスローガンは「いのちの声に耳を澄ます」ですから、地元の声にも耳を傾けていくことも必要かと思えます。四国管区大会は小さな青年会で人数も限られています

続けていきたいと思っています。僧侶や寺院という枠からもっと広げていければと思います。次の管区大会では精進料理にも取り組もうかと考えています。

全曹青の事業についてですが、基幹事業など、今の青年僧にとつて必要なものであると思います。委員会の事業も委員の皆さまの熱心な活動によって、毎会議ごとにより良い方向に進んでいるように感じています。管区理事になって、いろいろな経験をさせていただき感謝と自身の才学の無さを感じています。



Active Report from 3 Regions

「東北・東海・中国管区大会」 レポート



東北管区大会：基調講演 天藤全孝老師



東海管区大会：会場風景



中国管区大会：大会第二日目講師 小池龍之介師

「東北管区大会」 求道 ～たましいとの出会い～

去る11月10日、岩手県盛岡市会場に於きまして、平成21年度第34回曹洞宗青年会東北地方集會・岩手大会が開催されました。当日は東北各県より187名の青年会諸氏が集まり大会は盛況のものと行われました。『導く人』と送る人』と題しました。岩手県報恩寺住職天藤全孝老師による基調講演や、一般講演として兵庫県海久寺住職中村典篤老師には永平寺侍局の経験を通して「仏に出会う」108歳の禪師におつかえして」という講演をしていただきました。岩手県を代表するシンセイザイザー奏者である「姫神」による記念演奏も行われ300名以上の一般参加者が集まりました。

記念式典におきましては、決議文の採択の後、緒子伝達において次回開催県である宮城県へと緒子が引き継がれ第34回曹洞宗青年会東北地方集會・岩手大会は成功裡に閉会いたしました。

概要報告

PROGRAM ◎プログラム

- 日時：平成21年11月10日
会場：岩手県盛岡市
ホテルメトロポリタン盛岡
NEW WING
- 11:00 常任幹事会
 - 12:00 開場・受付
 - 13:00 開会 基調講演
「岩手県報恩寺御住職
天藤全孝老師」
 - 14:10 記念写真
 - 14:40 記念式典
 - 16:00 記念講演
「兵庫縣海久寺御住職
中村典篤老師」
 - 17:15 記念演奏「姫神」
 - 18:45 懇親会

大会を振り返って



平栗 壽隆
岩手県曹洞宗青年会
第17代会長

今大会は、「求道～たましいとの出会い～」をテーマの下に開催されました。

混迷の世の中で、私達青年僧侶に出来ること、なすべき実践は無限に有ります。

東北6県の青年僧侶が一同に会し、そのたましいの出会いの中から、活動の本源となる発心の原点を見つめ直し、それぞれの道を求める一助と成ればと企画したものです。

大会を振り返り、その成否は主管青年会として判断は出来ませんが、今大会を通じ参加者皆様の明日からの歩の後押しに成りましたならば幸いであります。



講演に耳を傾ける会員諸氏

「東海管区大会」あの頃に還ろう ～豊かな心を未来へ～

去る11月15・16日、「あの頃に還ろう～豊かな心を未来へ～」の大会テーマのもと、静岡県第四宗務所青年会・主管による第三十三回東海管区曹洞宗青年会大会が開催されました。

当日十三時より椅子坐禅を組み入れた開会法要が行われ、続いてタレント・島田洋七氏による基調講演「佐賀のがばいばあちゃん」が行なわれました。笑いあり涙ありの独演に会場は時折、笑いに包まれました。

その後、富岡ヤスヤ氏によるエレクトーンライブが催され、地元足立楽器の全面協力もあり、場内は「音楽の街・浜松」一色となる盛り上がりを見せました。

今大会も無事盛況の内に幕を閉じ、翌日は別会場にて東海各曹青対抗による「カート大会」が行われ、それぞれに曹青の枠を越え懇親を深めつつ、レースの終焉を向かえました。

概要報告

PROGRAM ◎プログラム

- 日時：平成21年11月15日・16日
会場：グランドホテル浜松(静岡県浜松市) 他
- 11/15
 - 12:00 開場・受付
 - 13:00 (第一部) 開会法要・式典
 - 14:00 (第二部) 基調講演
講師 島田洋七氏
 - 15:30 (第三部) アトラクション
エレクトーンパフォーマンス
奏者 富岡ヤスヤ
 - 16:00 閉会
 - 18:00 懇親会
 - 11/16
 - 交流会(カート大会)



島田洋七氏による講演

大会を振り返って



館 賢聖
曹洞宗静岡県第四宗務所青年会 会長

平成18年に当青年会発足30周年の記念大会を終えたばかりのつもりでいましたが、あつと言間に今回の第33回大会主管ということで、当青年会といまして、関係各位多忙な中でそれぞれのご支援に、感謝いたしております。

東海に限らず各管区における大会開催は、その企画運営等に大変苦心するものでありますが、「啗々譚々」しつつも一歩半歩着実に進んでいくことが大事なことであり、また青年会の良さでもあると感じております。

これからも、曹青の枠を越え、お互いに刺激し合える環境を築いていければと思います。

「中国管区大会」坊さんリテラシー ～「情報を処理・発信する能力」を仏教的に探る～

平成21年度 第32回中国曹洞宗青年会岡山大会が、多くの方々の御支援、御協力の下、開催致しました。

大会第1日目14時に開会式、15時より辛坊治郎氏による、発想の転換と犯罪者の氏名の公表についての話を交えた講演をして頂きました。

講演終了後は、中曹青連絡協議会と懇親会を行い、来賓・寺院の方々との親睦を深めました。

大会第2日目は、9時より小池龍之介氏にデイスカッションも交えて講演して頂きました。

小池氏については、今年6月に定例研修会として岡山に招待し、3泊4日で彼の主宰する「イェデ式坐禅セッション」を体験するという企画を行いました。

この度の大会におきましては、多くの方々から大会賛助金を賜り、岡山曹青一同大変感謝しております。

今後とも皆様の御協力、御指導の程、宜しくお願ひ致します。

概要報告

PROGRAM ◎プログラム

- 日時：平成21年11月16・17日
会場：岡山プラザホテル
- 11/16
 - 13:00 受付(ホテルにて)
 - 14:00 開会式
 - 15:00 講演(1時間半)
 - 16:30 講演終了 引き続き
中曹青連絡協議会
 - 18:00 懇親会
 - 11/17
 - 7:00 朝食
 - 9:00 講演
(前半45分 間10分間休憩、
後半45分 質疑応答20分)



大会開会式 岡山曹青会長挨拶

大会を振り返って



武 義道
岡山県曹洞宗青年会 会長

今回、中国曹洞宗青年会岡山大会が、講師に辛坊治郎氏と小池龍之介師をお迎えして2日間に亘り開催されました。辛坊氏はテレビの印象通りの方で、時折会場の笑いを誘いながらも本題に触れていく話術はさすがでした。テレビでは決して語られないであろうオフレコの話も興味深く拝聴させて頂きました。

小池師には三亭(戒定慧)について講演して頂きましたが、演台をどかしてステージに結跏趺坐され、その独特の話し方によって他に無い雰囲気を作り出されておられました。

会員皆が総力を挙げ、頭を悩ました1年間でしたが、無事大会が終了した今となれば畢竟も懐かしく、ご尽力頂いた方々に感謝申し上げます。

沿革

熊本県曹洞宗青年会は、当時まだ本会の組織を持たない本県に、曹洞宗青年会九州大会開催の依頼があり、天草郡天草町隣峰寺・下川忠厚老師(当時)が責任者となり東奔西走、会の発足の同志を求めて県下各地を駆け巡り、老師の情熱に大勢の同志が参集し、九州大会は大盛況の内に終えることができました。



熊本県曹洞宗青年会

現在の活動

本青年会の活動としては、毎年開催される夏休み子ども禅の集い、年に数回発行される熊曹新聞、年末のカレンダー作成事業等が主なものとして挙げられます。また、ハンセン病国立療養施設「菊池恵楓園」で年に2回行われる宗務所主催の法要にも参加しています。

本青年会の活動として、毎年開催される夏休み子ども禅の集い、年に数回発行される熊曹新聞、年末のカレンダー作成事業等が主なものとして挙げられます。また、ハンセン病国立療養施設「菊池恵楓園」で年に2回行われる宗務所主催の法要にも参加しています。

このことが起点となり、本青年会の正式発足の気運が一気に高まり、昭和55年、まさにその下川忠厚老師を初代会長に迎えて本会は発足しました。暗中模索の中スタートした本会も徐々に組織化されてゆき、現在、45歳までの青年僧で運営・活動しています。

九州管区の各青年会は、「九州は一つのスローガン」の下、九州曹洞宗青年会の事業に積極的に参加・協力しています。平成15年には、その九曹

青の第11期会長に本青年会より、天草市天草町隣峰寺、葛籠貫喜昭師が就任しています。

全曹青への出向も、ある意味伝統として引き継がれており、平成11年には本青年会より、上天草市松島町地藏院、荒木正昭師が第13期会長に就任しています。その後も、IT委員会委員、青少年教化委員会委員長、ボランティア委員会委員、広報委員会委員と、現在に至るまで脈々と全曹青での活躍が続いています。

昭和55年	足長	梅本実道
	副会長	藤岡弘龍
	事務局長	田中光顕
	会計	鳥羽瀬哲也
37名	会員数	

仮設の法堂にて気迫のこもった法戦式も披露するなど、とても内容の濃いものとなりました。

その他の活動としては、インド仏蹟巡拝を、この10年ほどの間に2回行っていきます。

九曹青の事業にも積極的に参加しており、毎年各県交代で行われるソフトボール大会には、全会員がユニフォームを作成して参加し、共に汗を流して交流を深めています。



夏休み子ども禅の集いにて坐禅の様子



平成21年夏休み子ども禅の集いにて



インド旅行にて



九曹青ソフトボール大会にて

熊曹青の ココが すばらしい

熊本県の曹洞宗には第一宗務所と第二宗務所ふたつの宗務所があり、それぞれに青年会が存在します。第一宗務所のそれが「二青会(いっせいかい)」で、第二宗務所のそれが「天声会(てんしょうかい)」です。ほぼすべての熊曹青会員が、どちらかの青年会に所属しています。

ちなみに、「二青会」は、熊本・阿蘇・八代・人吉球磨・小川・山鹿地域等の会員で成り立ち、「天声会」は天草地域の会員で成り立っています。

各会とも、ほぼ毎月研修をして

そうせいサポーターズより

青年宗侶へ一言

古希が近づき、そろそろ旅支度をと思いながらも、自分だけはまだまだという二律背反の心情の今日この頃、人生とはまさしく走馬燈の如くであり、時は人を待たずの一語に尽きます。さて、青年宗侶に望むことは、「仏教とはなんぞや?」という基本教義を徹底的に勉強し、実社会に役立たせることです。インド・チベット・中国・日本…二千五百年の時を超えて今も尚輝き続ける仏教の更なる発展と青年宗侶の活躍を期待しております。



田中 清光
熊本県第二宗務所
所長

社会の要望に応える活動を



荒木 正昭
第13期
全国曹洞宗青年会会長

熊本県曹洞宗青年会は、現代社会に密着した行事を中心に活発に運営されています。その中でも、「夏休み子ども禅の集い」は、各地区の寺院を会場にして毎年夏に一泊二日で開催され、大勢の子ども達が参加して有意義な時間を過ごしています。その他の研修会や法要もしっかりやり、全曹青や九州曹青とのつながりも深く広いものがあります。

今後は更に、様々な社会の要望に応えられるような青年会独自の活動をご期待致します。

熊曹青の 課題

やはり、熊本県の曹洞宗寺院も、北から南、東から西と広域にわたり存在するため、青年会員が集まるとなれば中心地である熊本市になることが多いのですが、特に交通手段の未発達な天草地域の会員・人吉球磨方面の会員においては、ひとつの会議に参加するだけでもかなりの時間を要します。また、災害時の急なボランティア活動等において俊敏さに欠けるといふ課題があります。

しかし、前述したように、二つの宗務所に二つの青年会が存在し、日頃から研鑽を積み、横のつながりを大切に行っていることを最大の長所として、今後は、一つの県の青年会としての結束を更に固り、衆生済度のために邁進していきたいと思えます。

熊曹青メンバーより

熊曹青は、今から29年前、会員相互の親睦と研鑽を図るために結成されました。熊本県内は第一・第二宗務所に分かれており、それぞれ、一青会・天声会としての活動も活発に行っております。

「希望がない」と言われる今の時代にあつて、自らに与えられた命を尊び、人と人とのつながりの中で力強くその生を全うしていくことに眼を向け、それをお伝えすることが、今、私たち青年宗侶に与えられた課題の一つと考えます。



梅本 実道
熊本県曹洞宗青年会
会長

寺院用仏具・仏壇、修理・製造 株式会社 鳳龍堂

〒963-8061 郡山市富久山町福原字福原62
フリーダイヤル 0120-228602
TEL 024 (922) 8602
FAX 024 (939) 1673
定休日・毎週日曜日 ●営業時間 AM9:00~PM6:00

●福岡県

- 15 龍國寺 様
- 18 聖種寺 様
- 102 能満寺 様
- 103 天聖寺 様

●大分県

- 10 天徳寺 様
- 24 海門寺 様
- 35 長流寺 様
- 76 福厳寺 様

●長崎県第1

- 26 鏡円寺 様
- 47 葉王寺 様
- 51 祥雲寺 様
- 88 慈光院 様

●佐賀県

- 77 宗善寺 様
- 124 朝元寺 様
- 164 太洋寺 様
- 174 常安寺 様

●熊本県第1

- 60 含蔵寺 様

●宮崎県

- 2 吉祥寺 様
- 49 如法寺 様
- 54 善栖寺 様
- 64 円南寺 様

●長野県第1

- 66 宝蔵院 様
- 128 普携寺 様
- 147 徳應院 様
- 158 満泉寺 様
- 213 盛隆寺 様
- 224 玄照寺 様
- 227 岩松院 様
- 300 威徳院 様
- 306 城光院 様
- 323 正眼院 様

- 370 日輪寺 様
- 372 長昌寺 様

●長野県第2

- 389 宗福寺 様
- 400 長久寺 様

●福井県

- 69 龍門寺 様
- 196 空印寺 様
- 218 常福寺 様

●富山県

- 81 長朔寺 様

●新潟県第1

- 373 常福寺 様
- 411 普濟寺 様
- 475 天昌寺 様
- 488 長福寺 様
- 496 長楽寺 様

●新潟県第3

- 514 長命寺 様
- 521 松泉寺 様
- 536 東福院 様
- 563 龍光院 様
- 646 名立寺 様

●新潟県第4

- 19 林照寺 様
- 69 永明寺 様
- 105 高德寺 様
- 112 常安寺 様
- 117 釈尊寺 様
- 185 見国寺 様
- 228 雲泉寺 様
- 259 長楽寺 様
- 738 不動寺 様

●福島県

- 9 宝積寺 様
- 13 陽泉寺 様
- 25 安洞院 様

- 26 鎌秀院 様
 - 36 大正寺 様
 - 83 最禅寺 様
 - 85 松原寺 様
 - 98 常泉寺 様
 - 101 成林寺 様
 - 110 龍徳寺 様
 - 118 小原寺 様
 - 123 金剛院 様
 - 136 広修寺 様
 - 157 万持寺 様
 - 167 澄江寺 様
 - 174 龍穂院 様
 - 212 東林寺 様
 - 231 円通寺 様
 - 246 長徳寺 様
 - 274 龍門寺 様
 - 337 示現寺 様
 - 338 西光寺 様
 - 345 大用寺 様
 - 370 秀長寺 様
 - 374 常德寺 様
 - 399 法界寺 様
 - 406 浄泉寺 様
 - 436 長福寺 様
- 宮城県
- 1 昌伝庵 様
 - 18 東秀院 様
 - 35 龍雲院 様
 - 59 清水寺 様
 - 73 円満寺 様
 - 88 耕田寺 様
 - 94 秀麗齋 様
 - 177 珠光寺 様
 - 198 積雲寺 様
 - 203 洞雲院 様
 - 205 龍川寺 様
 - 252 福厳寺 様
 - 293 梅溪寺 様
 - 406 松岩寺 様
 - 420 玖光院 様
 - 427 双林寺 様
 - 432 耕田寺 様

- 433 能持寺 様

●岩手県

- 1 報恩寺 様
- 12 沼福寺 様
- 13 長善寺 様
- 17 清水寺 様
- 21 恩流寺 様
- 43 中興寺 様
- 65 仁昌寺 様
- 81 円城寺 様
- 100 福蔵寺 様
- 120 菅生院 様
- 139 宝寿寺 様
- 147 龍徳寺 様
- 252 柳玄寺 様
- 276 慈眼寺 様
- 295 東海寺 様
- 304 柳善院 様
- 315 観音寺 様

●青森県

- 11 京徳寺 様
- 22 恵林寺 様
- 79 法光寺 様
- 98 東光寺 様
- 99 正法寺 様
- 110 長昌寺 様
- 166 高德寺 様
- 183 大乘寺 様

●山形県第1

- 14 耕雲寺 様
- 55 新龍寺 様
- 91 昌林寺 様
- 101 長泉寺 様
- 104 長松院 様
- 146 現福寺 様
- 151 長谷寺 様
- 194 龍護寺 様

●山形県第2

- 285 泉高院 様
- 302 常光院 様

- 328 龍澤寺 様
- 329 高国寺 様
- 346 長福寺 様

●山形県第3

- 438 西光寺 様
- 596 永福寺 様
- 611 妙楽院 様
- 616 満福寺 様
- 652 青陽院 様
- 671 海禅寺 様
- 718 長淵寺 様
- 728 泉宝寺 様
- 738 善應寺 様

●秋田県

- 10 歓喜寺 様
- 19 閻信寺 様
- 34 萬境寺 様
- 93 正重寺 様
- 136 長谷寺 様
- 157 香積寺 様
- 180 龍泉寺 様
- 181 黄龍寺 様
- 243 宝蔵寺 様
- 246 福城寺 様
- 279 宝昌寺 様
- 287 正法院 様
- 295 太平寺 様
- 321 鏡得寺 様

秋田県曹洞宗青年会 様

●北海道第1

- 13 曹溪寺 様
- 25 龍穂寺 様
- 34 諦玄寺 様
- 43 大円寺 様
- 85 中央寺 様
- 90 含笑寺 様
- 94 曹源寺 様
- 96 観音寺 様
- 486 薬王寺 様

●北海道第2

- 102 興禅寺 様
- 181 永祥寺 様
- 191 泰源寺 様
- 338 大仙寺 様

●北海道第3

- 151 大澤寺 様
- 224 禅龍寺 様
- 225 明光寺 様
- 483 慈福寺 様

全国曹洞宗青年会の活動は皆様の賛助費に支えられております。この度もご協力頂き誠に有難うございました。



贊助費淨納御芳名簿

平成21年
8/1~10/31

●東京都

18 大泉寺 様
101 心月院 様
105 鳳林寺 様
108 永福寺 様
171 高岩寺 様
180 正覚寺 様
220 中央寺 様
235 金光寺 様
294 観栖寺 様
317 龍雲寺 様
334 竹林寺 様
337 天澤院 様
386 龍昌寺 様

●神奈川県第1

245 極楽寺 様
373 興禅院 様

●神奈川県第2

5 天徳院 様
75 徳善寺 様
90 慈眼寺 様
93 曹源寺 様
151 正泉寺 様

●埼玉県第1

16 慈眼寺 様
59 長龍寺 様
64 寿楽院 様
67 宝国寺 様
181 長光寺 様
401 東竹院 様
418 全久院 様
441 金剛寺 様

●埼玉県第2

254 見光寺 様
331 曹源寺 様
460 天正寺 様
526 長福寺 様

●群馬県

20 竹芳寺 様

115 無量院 様
124 成孝院 様
171 久昌寺 様
194 善宗寺 様
217 正泉寺 様
292 光厳寺 様
311 泉通寺 様
333 大雲寺 様
338 龍松寺 様

●栃木県

68 鶏足寺 様
92 泉溪寺 様
119 宗源寺 様
129 明本寺 様
131 高德寺 様
132 宗泉寺 様
175 本光寺 様
199 正覚寺 様

●茨城県

26 長福寺 様
38 蒼龍寺 様
60 圓通寺 様
166 東光寺 様
191 法光寺 様
197 長龍寺 様
209 本山寺 様

●千葉県

5 東禅寺 様
7 満蔵寺 様
8 重俊院 様
20 福寿院 様
28 長福寺 様
29 慶林寺 様
70 昌福寺 様
93 芳泰寺 様
121 宝林寺 様
194 中瀧寺 様
198 太高寺 様

●山梨県

229 常幸院 様

288 法雲寺 様
558 安福寺 様

●静岡県第1

45 常安寺 様
126 一乗寺 様
175 靈山寺 様
201 重林寺 様
421 盤脚院 様
495 普門院 様

●静岡県第2

268 昌徳院 様
269 叢林寺 様
300 東向寺 様
325 海蔵寺 様
331 大江院 様
332 龍雲寺 様
362 福泉寺 様

●静岡県第3

608 養勝寺 様
610 長源寺 様
791 春林院 様
833 安興寺 様
871 永徳寺 様
1194 円通寺 様
1234 松久院 様

●静岡県第4

1025 龍谷寺 様
1129 随縁寺 様
1140 竹林寺 様
1143 金剛寺 様
1177 礼雲寺 様

●愛知県第1

5 功德院 様
7 全香寺 様
44 正福寺 様
68 慈福寺 様
91 法持寺 様
96 全隆寺 様
101 成福寺 様

148 法泉寺 様
166 東陽寺 様
182 観昌寺 様
190 天桂寺 様
262 圓昌寺 様
313 長松寺 様
628 靈岩寺 様
629 神龍寺 様
635 永澤寺 様
1098 薬師寺 様
1119 松月寺 様
1256 大泉寺 様

●愛知県第2

684 花井寺 様
900 海蔵寺 様
972 桂昌院 様
997 真増寺 様

●愛知県第3

428 寶珠院 様
1105 仙翁寺 様

●岐阜県

36 薬王寺 様
58 寿福寺 様
102 桂昌寺 様
139 長国寺 様
154 瑞現寺 様
167 正宗寺 様

●三重県第1

24 一心院 様
37 四天王寺 様
77 新堂寺 様
83 涼泉寺 様
128 妙泉寺 様
166 陽光寺 様
188 廣泰寺 様
298 慶蔵院 様
364 観音寺 様

●三重県第2

389 海岸寺 様

391 永明寺 様
393 光明寺 様
三重県第二曹洞宗青年会 様

●滋賀県

60 大雲寺 様
128 幡岳寺 様
186 三玄寺 様

●京都府

4 無学寺 様
6 天寧寺 様
26 岩屋寺 様
34 神應寺 様
73 春現寺 様
75 智恵寺 様
171 太虚寺 様
238 洞楽寺 様
354 蓮華寺 様
389 万福寺 様

●大阪府

10 梅旧院 様
26 天徳寺 様
31 正泉寺 様
61 大廣寺 様
98 吉祥院 様
109 法蔵寺 様

●兵庫県第1

14 禅昌寺 様
315 長松寺 様
340 永春寺 様
341 常厳寺 様

●兵庫県第2

150 円成寺 様
173 瑞雲寺 様
188 興禅寺 様
217 長福寺 様

●岡山県

2 海徳寺 様
16 善福寺 様

28 洞松寺 様
128 楊柳寺 様
181 宝樹寺 様

●広島県

22 光禅寺 様
46 雙照院 様
144 仲蔵寺 様
150 無量寺 様
185 明福寺 様

●山口県

25 弘濟寺 様
120 長徳寺 様
158 泉福寺 様
213 高林寺 様

●鳥取県

3 昌福寺 様
82 吉祥院 様
146 妙楽寺 様
153 法蔵寺 様
159 大祥寺 様
162 梅翁寺 様

●島根県第1

332 興源寺 様

●島根県第2

6 善福寺 様
42 常德寺 様
63 龍覚寺 様
66 浄心寺 様
77 本覚寺 様
96 瑞龍院 様
98 法船寺 様
157 慶用寺 様
195 總光寺 様

●愛媛県

18 陽春院 様
79 成福寺 様
96 安穩寺 様
111 大通寺 様

あまのずの9 | ダイアローグ

“医信同源”の診療所(後編)



普門院診療所



生と死が手を結ぶには
飯島〇以前拝読した先生の玉稿に「生と死が手を結ぶには、病院のグリーンケアカンファレンス(大切な人を亡くした悲嘆のケアに関する会議・打ち合わせ)に患者の菩提寺の住職を呼ぶことから始めることも可能だと思えます」と書いておられました。そのような形で、仏教者が「苦の現場のケアスタッフの一員である」という意識を持ち、菩提寺と檀家という関係を超えて、人間対人間のおつきあいはじまるのではないかと思います。

私が緩和ケア病棟で働いていたときにも、同じようなことを考え、「菩提寺のご住職をお呼びして話をしていただけなら」と考えましたが、実現はできませんでした。ですから、実現できたら、緩和ケア・スピリチュアルケアの

現場に於いて、医療サイドに於いても、仏教サイドに於いても大きな変化に繋がるのではないかと思います。普門院診療所にて、このような形でのカンファレンスがおこなわれたことがありましたら、お話しいただきたいと思えます。

田中〇患者が入院したら菩提寺に連絡をして、将来葬儀を担当することになる僧侶に御見舞に來てもらう、これが本来あるべき病院と菩提寺の関係だと思えます。しかし、現在日本の僧侶は寺院に引きこもっていて、その実現が難しい状況です。私達は平成8年に、老



写真右：
普門院診療所内のリハビリ施設

写真下：
通所介護事業所「中善坊」

人保健施設「看清坊」を作ったときに、まず老健に來て貰うことから医療と菩提寺の連携を始めようと考えました。そして看清坊の落成式に宗教関係者を招待しました。その時の案内状に「檀家さんや信徒さんが入所された時には、本人あるいは保護者の同意を得て、入所された旨を連絡させて頂きたいと思えます——限られた命を生きる宗教的な支えを、貴社社教会等でのみならず、老健施設看清坊に届けて行つて頂きますようお願い申し上げます」と書きました。

そして入所面接時に書面で菩提寺と、その連絡の可否を聞く





写真上：西明寺山門(重文)

写真右下：西明寺境内にある笑い閻魔(なぜ笑うかはホームページ参照)

写真左下：西明寺本堂内(厨子は国重文)



ようにしました。実際に来てくれた宗教者は多くはありませんでした。しかし何度か仏教僧侶が来られて、看清坊がNHKで紹介されたときには、僧侶が入所者のところに訪問している場面も放映されました。日曜日には教会に通っていたというキリスト教の信者が遠方から入所されたとき、本人の希望で近くのキリスト協会に連絡して牧師さんに来てもらったこともありました。

現在も入所面接時には同じ質問紙を用いて菩提寺への連絡の可否を聞いていますが、菩提寺へ連絡することには消極的になつてしまつています。現在長期間活動を停止した状態の益子町仏教会に働きかけて、再度連携のお願いをする必要があると思つています。現在改築予定の寺の建物が完成した落成式がそのチャンスと考えています。

医療の現場を学ぶ

飯島〇臓器移植法案改正についての記事を拝読した中では「菩提寺の住職は死にゆく苦の現場に行くべきです。積極的に倫理委員会の委員にもなつて責任の一端を担いましょう」と書いておられました。これは私たち仏教者にとつての喫緊の課題であると考えます。これを実現させるためには、仏教者として「苦しみ

の現場」について勉強することも必要であると考えますが、地域の仏教者(お寺の住職さま等)を対象とした勉強会などを開催しておられるのでしょうか？
田中〇医療の現場について僧侶は勉強する必要があると思いません。私自身が地域で勉強会を開くことは行っていません。私は大正大学の非常勤講師として、平成3年から学生に医療と仏教の講義をしています。
数年前、学長にスピリチュアルケア・ワーカーを育てる講座を作る提案をして、その実現の

方向に動きかけたのですが未だ実現していません。高野山大学にはスピリチュアルケア学科ができて、大学が主催する「21世紀高野山医療フォーラム」では私も以前話をさせて頂きました。
カトリックでは、大学で6年間宗教と哲学を学んで神父の資格を得た後に、2年間医療に関して学んでスピリチュアルケア・ワーカーの資格を取得します。さらにパチカンでは毎年世界中からカトリック医療従事者が集まつて3日間の勉強会を開いています。全日本仏教会の推薦で私もそこに招待されて仏教の立場を発表しました。スピリチュアルケア・ワーカーを育てる講座を全日本仏教会でつくられたらよいと考えています。

西明寺と医療法人普門院診療所

西明寺は獨坐山普門院西明寺と称し、真言宗豊山派に属する。天平年間に行基菩薩を開山、紀有麻呂を開基に創建されたと伝えられ、延暦元年には一山12坊を数えた。楼門、三重塔、本堂内厨子が国指定の重要文化財。坂東巡礼第20番、下野第13番の札所。
西有寺境内に建つ医療法人普門院診療所は入院19床、診療科として内科・麻酔科・泌尿器科・整形外科・リハビリテーション科を有し、緩和ケアも実施する。また、介護老人保健施設「看清坊」、認知症対応型共同生活介護事業所(グループホーム)『能羅坊』、居宅介護支援事業所『金蓮坊』、通所介護事業所『中善坊』を運営している。
〒321-1421
栃木県芳賀郡益子町益子4409
<http://funon.jp/index.htm>

両大本山御用達
梅花流法具販売指定店
法衣・装束・荘厳・神仏具・贈答用記念品

株式会社 梅金商店

(全国曹洞宗法衣同業会会員)

〈本社〉〒460-0011 名古屋市中区大須三丁目39番33号
(大須交差点東北側)
TEL (052) 241-0901(代表) FAX (052) 241-1904

戦国期から江戸中期の掛絡

戦国期から江戸中期にかけての掛絡の形態を知ることができる。最初に於大(一五二八―一六〇二)の方が寄附したもので、次に千姫(二五九七―一六六六)が所用していたものの、その次に徳川綱吉(二六四六―一七〇九)の着用した羽織を仕立て直して作った掛絡をみてみよう。

於大は四代緒川城主水野忠政の二女で、岡崎城主松平広忠に嫁ぎ、徳川家康を生んだ。しかし、離縁されて阿久比城主久松俊勝に再嫁した戦国期の波乱な生涯をおくった人である。洞雲院(愛知県知多郡阿久比町)に所蔵する大掛絡の環には「天正六寅八月二十八日 俊勝御奥寄附(図1)と墨書きされており、天正六年(一五七八)八月二十八日に久松俊勝の室於大が寄附したものである。

では、なぜ寄附されたかという点、前年の同五年に庶長子の阿久

比城主信俊が佐久間信盛の讒言により織田信長の命で大坂の四天王寺において切腹した。その子の小金丸、吉安丸も佐久間の手勢で攻められ落命した。そのため一周忌法要の時、当時の洞雲院住職であった二世久山昌察へ寄附されたものと伝承されている。

大掛絡は緑色菊及び花柄の金襴である。田相は縦四十八・五センチ、横七十四センチで、竿の幅は内外側ともに十二センチ、内側の左竿に環がついている。マネキは縦二十四センチ、横二十一・五センチの長方形で、竿とは一カ所だけ綴つてある。裏は額のようになっており、縁の幅が十センチ、額の部分は小豆色の絹である。

マネキの裏書には、
附与嗣法小師
新命魯雄長老
前永平覚雄書

宝曆七季丑三月退院日

とあり、宝曆七年(一七五七)三月に八世覚雄海満より九世豪選魯雄へ附与されており、洞雲院の伝衣にもなっている。

現在の曹洞宗の大掛絡と比べてみると、額の布が白衣であることやマネキの飾り糸が折れ松葉であること以外はよく似ている。ただし、当時の掛け方は前に掛けたか、横に掛けたか、背後に掛けたかは不詳である。(図2)

次に千姫の所用していた五条袈裟がある。これは浄土宗の威儀細大五条といわれるもので、禪宗の大掛絡にあたる。千姫は二代將軍秀忠と浅井長政三女お江の長女で、天下の美女と称された。千姫の遺物として弘経寺(茨城県常総市豊岡町)に所蔵されており、葵紋がついた金襴である。田相の縦は三十四センチ、横は四十八センチで、縁は七センチ、竿の幅は内外とも九・五センチ、長さは約一一二

センチで、環はない。マネキは浄土宗で「威儀どめ」ともいわれており、縦十四・八センチ、横十三センチである。飾り糸で表は米、裏は山となつている。裏は額があり白絹となつている。(図3)

千姫は七歳で豊臣秀頼に嫁し、大坂城に住んでいたが、落城に際して辛くも救い出され、翌年に桑名城主本多忠政の嫡男忠刻に再嫁し、忠政が姫路城主となるのに従つて夫とともに姫路に赴いた。しかし、長男は早世し、夫忠刻も寛永三年(一六二六)に亡くなったため江戸へ戻り、十二月に落飾して天樹院と号した。その戒師を勤めたのが弘経寺十世照誓了覚で、千姫は弘経寺を菩提寺と定め、本堂鐘楼、中門などの再建に多大な寄進を行った。そのため大五条は、落飾した寛永三年(一六二六)十二月以後、亡くなる寛文六年(一六六六)迄の間に使用されたものであ

らう。

次に五代將軍徳川綱吉と御台所(正室信子)から拝領した大掛落が三肩ある。二肩は綱吉の羽織を仕立て直して作ったもので、一肩は御台所が寄進したものである。ともに元禄十三年(一七〇〇)四月十八日に神応寺(京都八幡市八幡西高坊)十九世廓翁鉤然が拝領している。廓翁は神応寺の伽藍や什器類を整備し、常恒会地の寺格を得て復興した人である。その復興に尽力したのが右衛門佐で、右衛門佐は水無瀬中納言氏信の女であった。初め常磐井と号し、霊元天皇中宮新上西門院鷹司房子の侍女であった。綱吉の御台所が鷹司家より迎えられたことから、数多の官女より才知ある女房をと選ばれ関東に下向し、名を右衛門佐と改めた。右衛門佐が大奥にあがった背景には、城中の御台所と鶴姫生母である側室お伝の方との対立があ

り、才色兼備で知られた右衛門佐が、御台所付きとして都から呼び寄せられたのである。御台所に年寄りとして近侍し、惣女中頭となり千石を賜っている。

右衛門佐は廓翁に帰依していたため、神応寺の復興にあたり、右衛門佐が御台所を通じて將軍へと

長さは外側が一三一センチ、内側は一二九・五センチ、幅は外側十一センチ、内側十・五センチ、内側の左に細い象牙の環がついている。裏は全体が白布で、マネキの飾り糸の図柄は表が米、裏は×である。(図4・5)

もう一肩は赤地の金襴で、田相

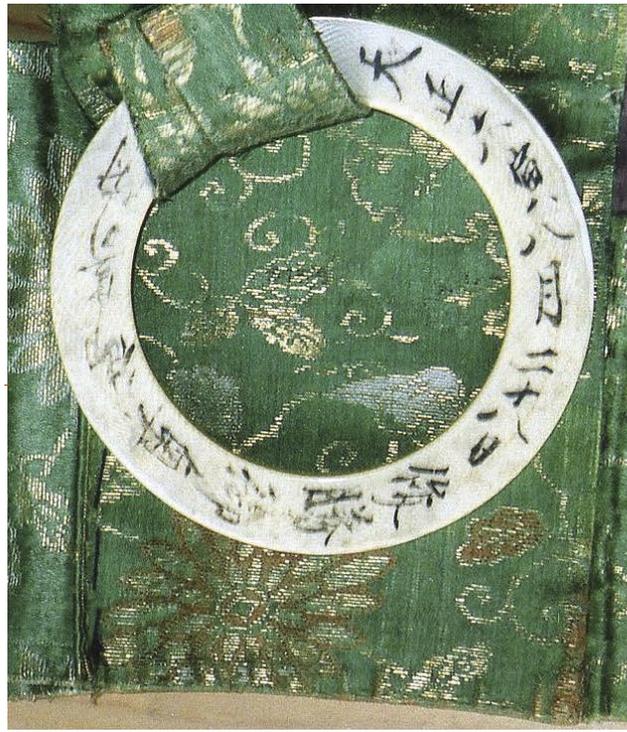


図1 墨書きされた環

りなし勸化に協力したものとと思われる。そのため廓翁は彼女に対し、卒後に石塔を建て永代供養料として全二十両を寺納し謝恩の意を表している。

綱吉の羽織を仕立て直した掛絡の一肩は、紅地の唐織で田相が縦四十七センチ、横六十センチ、竿の

が縦四十一センチ、横五十七・八センチ、竿の長さは外側が二七・五センチ、内側は二二・八センチ、幅は外側が十一・四センチ、内側は十一・三センチで、やはり左の内側に象牙の環がついている。裏はやはり全体が白布で、マネキの飾り糸は米である。(図6・7)

三肩目は御台所より寄進されたもので、黒地の広東鍛子であるが、田相は破損しているため、条相が確かでない。裏布は薄茶色の一枚布で、裏布より測った田相の大きさは縦三十七センチ、横六十二・六センチ、竿の幅は外側が十二センチ、内側が四・八センチである。初めは環がついていたようであるが、現在は無い。マネキの飾り糸は、表が米、裏は一となつている。

以上、戦国期から江戸中期の大掛絡、大五条の伝承と形態をながめてきたが、曹洞宗寺院に所蔵する於大の寄附した大掛絡と綱吉御台所の寄進した大掛絡ともに田相、竿、マネキも大きく環がついている。しかし、於大の掛絡は裏面が額で浄土宗と同じであり、現在の曹洞宗の掛絡とも同じである。御台所の掛絡は裏布が全体をおおっているため、臨済宗の掛絡と同じである。マネキの飾り糸は、於大の掛絡が一カ所綴つてあるのみである。しかし、御台所の掛絡は千姫の大五条のように米であり浄土宗と同じである。そのため、浄土宗、臨済宗、曹洞宗の折衷した掛絡ということになる。

ともに曹洞宗寺院に伝承され歴史の搭けていたものであるが、現在の曹洞宗の大掛絡になる前段階の掛絡であったということができよう。



図2 前から搭けた於大の掛絡



図3 千姫の所用した大五条



図4 神応寺蔵の掛絡(イ)



図7 (口)の裏



図6 神応寺蔵の掛絡(口)



図5 (イ)のマネキ

時代の節目を乗り越え、
六百年の歴史を刻む

瑞雲萬歳山

大寧護國禪寺を

訪ねて



山号額と寺号額
本堂入口に掲げられた「山号額」と「寺号額」。



取材・文：小林桂子 撮影：小倉直子

本堂 寛永17(1640)年の野火で焼け残った衆寮(僧の寄宿寮)を文政12(1829)年に移築したもの(県指定有形文化財)



山門の礎石
山門は、寛永17(1640)年の野火で焼失したのち、延宝5(1677)年益田元堯公によって再建されたが明治末期に倒壊、現在は礎石が残るのみ



取材にご協力をいただいた皆様。五十三世・岩田啓靖老師を中央に、右が大寧寺寺務の大庭龍徳氏、左が全書青広報委員の伊藤暢道師

応永十七(一四二〇)年、大内家の支族鷲頭弘忠公が石屋真梁禪師を開山に迎え開創した。かつては六百数十ヶ寺に及ぶ末寺を有する僧録寺として栄え、大内氏断絶後も毛利氏の菩提寺として繁栄の道を歩む。しかし明治以降、藩の庇護は断たれた。今年、開創六百年を迎える大寧寺では、記念行事に向けての様々な取り組みが進められている。

時代と共に栄え、
移り過ぎた六百年の歴史

創建は、今から六百年前の応永十七(一四二〇)年。周防長門(現、山口県)の守護大名大内氏の支族、鷲頭弘忠公が石屋真梁禪師を開山に迎え、開創した。それからの永い歴史の中、いくつもの時代の節目を乗り越えてきた僧院である。

石屋禪師が南北朝に分かれた皇室を合一する使僧として尽力したことを礎に、かつては全国六百数十ヶ寺に及ぶ末寺を有する僧録寺として栄え、その壮麗美観は「西の高野」と称されたほどであった。しかし、山口の栄華を極めた大内氏が滅びると共に

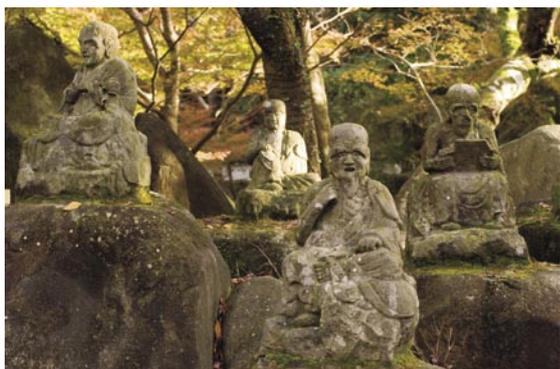
に、大寧寺もまた焼き払われた。大内氏三十一代当主大内義隆が、その家臣、陶晴賢の謀反によって菩提寺である大寧寺まで逃げ延び、この地で自刃したのは天文二十(一五五二)年(大寧寺の変)。その後、陶氏を破った毛利元就によってお寺は再建されたが、徳川幕府による宗教政策や寛永十七(一六四〇)年の野火による再度の焼失、さらには明治維新の神仏分離政策など、数々の時代の波乱を乗り越えながらも、明治以降は藩の庇護を失い、繁栄は終焉を告げた。今年、開創六百年を迎える大寧寺では、波乱の時代の中で失われた山門をはじめ七堂伽藍の再建や墓碑の整備など、かつての姿の再現に向け



毛利家家臣の墓群
参道に通じる山手斜面に広がる墓碑群。郷土文化研究会の調査で約300基の墓石が確認された



大内義隆主従の墓
本堂裏の山腹(遊仙窟)に祀られている。十三世・異雪禅師の計らいで、行水・白装束で法話を聴いた時、追っ手は既に寺を囲んでいたという



十六羅漢
境内に配置された羅漢像。制作年は定かではないが延宝5(1677)年頃と思われる



かぶと掛け岩
池に顔を映す際、脱いだかぶとを掛けたとされる岩



姿見の池
大内義隆公が自らの顔を映して最後を悟ったとされる池



お手伝いをいただいた山口曹青の大庭俊洞師(左)と大寧寺徒弟の山口周和師

盤石橋

本堂に通じる第一の橋。自然石を組み合わせた造りで山口県三奇橋の一つとされる。寛文8(1688)年の架橋



薬師如来像(歴史資料館「虎溪殿」内)



開山、石屋真梁禅師(「開山堂」内)

歴史的見どころの多い境内には、大内義隆が自らの顔を映して最後を悟ったと云われる「姿見の池」や、その時かぶとを掛けたとされる「かぶと掛け岩」が残り、また本堂に通じる第一の橋「盤石橋」は山口県三奇橋の一つにも数えられ、造形美だけではない。

大寧寺の境内には、約三百基もの墓碑が点在する。この地で命を絶つた大内義隆はじめ家臣の墓の他、毛利家家臣の分骨墓、上杉憲実の墓もある。足利学校や金沢文庫の再興で知られる関東管領上杉憲実が政争に疲れ出家、この地に辿り着いたのは享徳元(二四五七)年。四世・竹居禅師の弟子となり、寛正七(一四六六)年にこの寺で亡くなった。他にも萩藩家臣やその妻の墓などが多数あり、これらの調査・研究は現在も続けられている。

た取り組みが懸命に進められている。豊川稲荷も勸請祭祀された見どころの多い境内

秋には紅葉、春には桜が咲き誇る境内には訪れる人が絶えないが、新緑の六月もひと際美しい景色が楽しめるという。

く建築史上でも高く評価されている。そして、大寧寺を語る上でもう一つ外してならないのが「長門豊川稲荷」である。幕末の文久三(一八六三)年、朝廷との対立から都を追われた七人の公卿の一人、三条実美卿を保護したのが四十五世・實運泰成禅師であった。その後、明治維新後の兵制改革に抵抗した「長州諸隊の乱」を擁護したことから亡命し、豊川の妙厳寺に身を寄せることとなった實運禅師が、当時の神仏分離政策から豊川稲荷を守ろうと救済を求めた政府要人の中に三条卿と多くの長州人がいたのである。このお蔭で危機を救われ、その奇縁から大寧寺に分霊を祀ることとなった。



長門豊川稲荷禅宮。右は参道の千本のぼり



開創六百年記念報恩大授戒会

「食と温もりのお授戒」

今年五月、開創六百年を迎える大寧寺では、五月九日〜十三日の五日間、大授戒会の行事が開催される。

戒とは、「人間として守るべき良い生活習慣を意味し、お釈迦さまが弟子たちに戒法を授けた儀式が今日にまで伝えられ、授戒会の大切な修行の場とされた

ものである。当日は、曹洞宗大本山總持寺より戒師様をお迎えして執り行われる。

「食と温もり」と題する今回の授戒会は一般の方を対象とし、食事は当寺が心を込めて提供する精進料理を、夜は湯本温泉でお湯の恵みを存分に味わっていただく。檀家であるなし、宗派な

5月
9~13日



大寧護國禪寺：TEL 0837-25-3469 / FAX 0837-25-3646

食と温もりの
大授戒会 大寧護國禪寺

期日 平成22年5月9日(日)~13日(木)
会場 山口県長門市湯本温泉 瑞雲山大寧寺
TEL 0837-52-3469
後援 曹洞宗山口県宗務所 曹洞宗青年会

「恩湯」と「礼湯」

大寧寺三世・定庵禪師が月の夜、寺の周りを散歩していると石の上で坐禅を組む老人と出会う。この老人こそ、長門一宮(下関)の住吉大明神であり、老人はその後仏道を修めた定庵禪師から菩薩戒を受けた法恩に報いるため、山の奥に温泉を出しておきましたと告げたあと、竜の姿となって雲の上にかき消された。



浴槽内に祀られている大明神

これが湯本温泉開湯の謂われとされているが、二つの公衆浴場「恩湯」と「礼湯」は、今では地元の人々のユニケーションスポットとして賑わっている。また、浴槽内には大明神の像が祀られ、湯につかるとご利益があると云われている。

開湯は、およそ六百年前の応永三十四(四二七)年、山口県でもっとも古い温泉である。

千代橋のたもとに建つ「恩湯」。脇の坂道を登ると「礼湯」へ。夜はネオンがライトアップ

明暦三(一六五七)年創業 萩焼 深川窯の始まり

その歴史は豊臣秀吉の時代にさかのぼり、文禄・慶長の役に朝鮮(李朝)陶工を連れ帰ったことに始まる。萩では、毛利輝元が松本村に藩窯を創設し、李勺光・李敬兄弟が焼いたのが始まりである。それから約半世紀



深川本窯の登り窯



十三代 田原陶兵衛作

後の明暦三(一六五七)年、藩の許しを得て深川三ノ瀬の地に「三ノ瀬焼物所」が開窯された。三ノ瀬焼物所は、当初より「自分焼(自家営業)」が認められた半官半民の性格をもっており、松本とは異なっていた。そのため、松本の御用窯を「松本窯」と呼ぶのに対し、こちらは「深川窯」と呼ばれている。現在、湯本三ノ瀬には五戸の窯元がある。



取材協力:萩焼深川本窯 十三代 田原陶兵衛

第十九期会長選考について（公募）

会長選考委員会に於いて、会則並びに細則に従って下記の事項が決定されました。
全国曹洞宗青年会第十九期会長に立候補する者は、左記の要綱に従い、立候補届け
を完了して下さい。

全国曹洞宗青年会 第十九期会長選考委員会 委員長 伊藤和人

全国曹洞宗青年会 第十九期会長選考委員会 届出要項

- 一、立候補届並びに履歴書の提出
- 二、立候補者の曹洞宗青年会における経歴書の提出
- 三、推薦状 ①管区曹青会代表者 ②曹青会代表者
- 四、立候補に当たって執行方針の提出
- 五、立候補届送付先
全国曹洞宗青年会 第十九期会長選考委員会 委員長 伊藤和人
〒七八九-1230-1
高知県高岡郡中土佐町久礼六一八三 善教寺内
電話 〇八八九-1521-2962
FAX 〇八八九-1521-1956
- 六、立候補届け出期限 平成二十二年二月十五日(月)必着
- 七、立候補届け出方法 必ず郵便書留にてお願い致します。
- 八、選考委員会構成成員
選考委員長 伊藤 和人 (四国管区理事)
選考副委員長 榎山 武浩 (東北管区理事)
選考委員 久間 泰弘 (第十八期会長)
田中 秀一 (関東管区理事) 橋本 真英 (北海道管区理事)
杉山 雄峰 (近畿管区理事) 嶋田 英淳 (東海管区理事)
瞿曇 浩道 (九州管区理事) 武 義道 (中国管区理事)

全国曹洞宗青年会 ● 会則 (抜粋)

第七章 執行部

第三十五条(執行部の組織)

一、執行部は、会長一名、副会長三名、各委員会委員長一名、事務局長一名、事務局員若干名、会計一名をもって構成する。

第三十七条(執行部の選任)

一、会長、副会長及び執行部は、正会員の中から総会で選任する。

二、前項に関するほか、会長、副会長及び執行部の選任に関する規定は、〔全国曹洞宗青年会執行部選考に関する規程〕に従って選任する。

全国曹洞宗青年会執行部の選考に関する規程

第一条(目的)

本会の会長及び副会長の選考は、公平及び中立を旨として、本会会則第三十七条第二項に基づき、この規程によって行う。

第二条(選考委員会)

一、本会は、会長候補者及び副会長候補者の選考を行うため、選考委員会を組織する。

二、選考委員会は、管区理事及び会長をもって構成する。

三、選考委員の任期は各期初年度定期総会終了時より会長候補者及び副会長候補者が選任されるまでとする。

四、選考委員が欠けた場合は、当該管区から補欠選任する。その任期は前任者の残任期間とする。

五、選考委員会の委員は、その委員会において知り得た秘密を保持する権利を有し、義務を負う。

第三条(選考委員会委員長及び副委員長)

一、選考委員会に委員長一名及び副委員長若干名を置く。

二、委員長及び副委員長は委員の互選による。

第四条(選考委員会の職務)

一、選考委員会は次期会長候補者及び副会長候補者の届出の諸手続を定める。

二、前項の諸手続は、当該年度の二月一日まで公報する。

第五条(選考委員会の招集)

一、選考委員会は委員長が招集する。

二、選考委員会の会議は、委員三分の二以上出席しなければならない。

三、選考委員会の議事は出席委員の三分の二をもって決する。

第六条(委員の立候補及び推薦の禁止)

選考委員会の委員は、会長または副会長の候補者若しくはその推薦人となることはできない。

第七条(会長候補者の選考と資格)

一、会長候補者となる者とは、本会会則第八条に定める正会員の中から就任年度四月一日に満三十九歳以下の者より選考する。

二、前項の者は、各管区曹洞宗青年会代表者及び所属青年会代表者の推薦状を添付した申出書を、選考委員長に届け出なければならない。

三、選考委員会は、前項の候補者の中から次期会長候補者を一名選考する。選考の手続は第五条に定めるところによる。

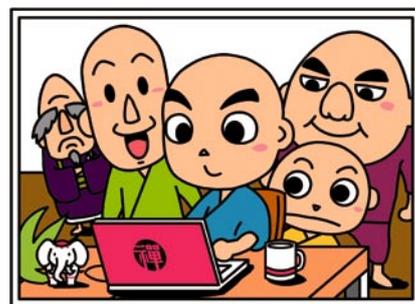
全国曹洞宗青年会ホームページ「般若」

全曹青 般若

検索

全国の曹青会活動をつなぐ情報サイトです。どうぞご利用下さい！
特設ページ「SouSei on web」(パスワード制)は、誌上の補足情報や特別コンテンツが満載です。

*パスワード「1890」を入力して下さい。



イラスト：広瀬知哲 <http://www.we2ya.jp>